

平成28年度 自治会アンケート調査 結果

調査票配布数
回答数
回答率

自治会
146自治会
108自治会
74.0%

地区別回答率（地区別自治会数）

- 1. 平生地区東部地域 (35)
- 2. 平生地区西部地域 (35)
- 3. 大野地区 (25)
- 4. 曾根地区 (25)
- 5. 佐賀地区 (26)

自治会数	%
25	71.4%
22	62.9%
22	88.0%
19	76.0%
20	76.9%

「大野地区」が88.0%と最も高く、次いで「佐賀地区」の76.9%となっています。

問1 会長の性別

- 1. 男性
- 2. 女性

人数	%
94人	87.0%
14人	13.0%

「男性」が87.0%と大半を占めています。

問2 会長の年齢

- 1. 20歳代以下
- 2. 30歳代
- 3. 40歳代
- 4. 50歳代
- 5. 60歳代
- 6. 70歳代
- 7. 80歳代
- 8. 90歳代

人数	%
1人	0.9%
5人	4.6%
12人	11.1%
16人	14.8%
40人	37.0%
29人	26.9%
4人	3.7%
1人	0.9%

「60歳代」が37.0%と最も高く、次いで「70歳代」が26.9%となっており、60歳以上が全体の約7割を占めます。

問3 会長の職業（主なもの1つに○をしてください）

- 1. 会社員
- 2. 公務員
- 3. 自営
- 4. 無職
- 5. その他

人数	%
30人	27.8%
7人	6.5%
11人	10.2%
48人	44.4%
12人	11.1%

「無職」が44.4%と最も高く、次いで「会社員」が27.8%と高くなっています。

問4 自治会活動に月に何日ぐらい従事されていますか。

- 1. 3日以下
- 2. 6日以下
- 3. 9日以下
- 4. 10日以上
- 5. 無回答

人数	%
54人	50.0%
28人	25.9%
4人	3.7%
5人	4.6%
17人	15.7%

「3日以下」の自治会が50%と最も高く、次いで「6日以下」が25.9%となっています。

問5 現在の貴自治会の規模をどう感じていますか。それぞれ1つ選んで○をしてください。

世帯数

- 1. 少ない
- 2. ちょうどよい
- 3. 多い
- 4. 無回答

人数	%
13人	12.0%
78人	72.2%
14人	13.0%
3人	2.8%

範囲

- 1. 狭い
- 2. ちょうどよい
- 3. 広い
- 4. 無回答

人数	%
6人	5.6%
75人	69.4%
18人	16.7%
9人	8.3%

世帯数は「ちょうどよい」が72.2%と最も高く、範囲も「ちょうどよい」が69.4%と最も高かったが、世帯数が「少ない」「多い」、範囲が「広い」という意見もあった。

問6 貴自治会で実施している活動について、該当するものすべてに○をしてください。(複数回答)

- 1. 地域内の美化、清掃活動
- 2. 自治会内の広報・チラシの作成、配布
- 3. 街路灯の整備、維持管理
- 4. 募金活動
- 5. ごみ集積所の管理
- 6. 祭り、伝統行事
- 7. 集会施設の維持管理
- 8. 防災活動
- 9. 防犯活動
- 10. 親睦会の開催
- 11. 地域内の声かけ運動
- 12. 高齢者の見守り
- 13. 運動会等スポーツ活動
- 14. 交通安全指導
- 15. 住民の苦情の調整
- 16. 会員名簿の作成
- 17. 何もしていない
- 18. その他

人数	%
92人	85.2%
64人	59.3%
76人	70.4%
72人	66.7%
72人	66.7%
65人	60.2%
36人	33.3%
34人	31.5%
10人	9.3%
21人	19.4%
19人	17.6%
18人	16.7%
4人	3.7%
7人	6.5%
45人	41.7%
47人	43.5%
3人	2.8%
3人	2.8%

「地域内の美化、清掃活動」が85.2%と最も高く、次いで「街路灯の整備、維持管理」が70.4%となっています。

問7 自治会を運営する上での課題について、該当するものすべてに○をしてください。

- 1. 構成員の高齢化
- 2. 活動のための情報不足
- 3. 活動のための資金不足
- 4. 自治会未加入世帯の増加

人数	%
71人	65.7%
6人	5.6%
14人	13.0%
9人	8.3%

<input type="checkbox"/> 5. 役員のなり手がいない	38人	35.2%
<input type="checkbox"/> 6. 集会施設・活動拠点施設がない	15人	13.9%
<input type="checkbox"/> 7. 役員の負担が大きい	21人	19.4%
<input type="checkbox"/> 8. 他の自治会との連携が弱い	24人	22.2%
<input type="checkbox"/> 9. 地域住民の協力が得にくい	12人	11.1%
<input type="checkbox"/> 10. 行事のマンネリ化	15人	13.9%
<input type="checkbox"/> 11. 活動の参加者が少ない	24人	22.2%
<input type="checkbox"/> 12. 構成員の交流が難しい	16人	14.8%
<input type="checkbox"/> 13. 特に課題はない	14人	13.0%
<input type="checkbox"/> 14. その他	5人	4.6%

「構成員の高齢化」が65.7%と最も高く、次いで「役員のなり手がいない」が35.2%となっています。

問8 問7で○をつけた課題について、貴自治会では課題解決のための取組を検討・実施されていますか。

- 1. 検討・実施している
- 2. 検討・実施していない
- 3. 無回答

人数	%
14人	13.0%
70人	64.8%
24人	22.2%

「検討・実施していない」自治会が64.8%と「検討・実施している」自治会を大きく上回っています。

問9 問8で1. 検討・実施していると答えた方は、その取組内容を記入してください。

5ページ参照

問10 全国的に「空き家・空き地(耕作放棄地)」の増加が問題となっています。本町では、定住促進と危険家屋の防止を図ることを目的に「空き家バンク」事業がありますが、貴自治会では「空き家・空き地」の所有者及び管理者の連絡先を把握されていますか。

- 1. すべて把握している
- 2. ある程度把握している
- 3. 連絡のとれる人を把握している
- 4. 把握していない
- 5. 空き家・空き地がない
- 6. 無回答

人数	%
8人	7.4%
35人	32.4%
8人	7.4%
39人	36.1%
15人	13.9%
3人	2.8%

「把握していない」が36.1%と最も多く、次いで「ある程度把握している」が32.4%となっています。

問11 今年4月に発生した熊本地震、10月に発生した鳥取県中部の地震で重大な被害が出ています。このような大規模な災害が起きた場合、貴自治会では、自力で避難できない高齢者や障がい者などについて、どの程度把握されていますか。

- 1. 全員把握できている→問12へ
- 2. おおむね把握できている→問12へ
- 3. 一部把握できている→問12へ
- 4. 把握できていない→問12へ
- 5. 該当する人はいない
- 6. 無回答

人数	%
18人	16.7%
43人	39.8%
14人	13.0%
16人	14.8%
13人	12.0%
4人	3.7%

「おおむね把握できている」が39.8%と最も多く、「全員把握できている」「一部把握できている」を合わせると約7割が何らかの把握ができていますが、「把握できていない」も14.8%あります。

問12 問11で「1～4」を選んだ方にお聞きします。災害が起きたとき、この方々の安否確認や避難支援はどのように検討されていますか。（複数回答）

- 1. 自治会で支援する
- 2. 近所で支援する
- 3. 本人やその身内などが対応する
- 4. 災害発生時の状況に応じて支援方法を決める
- 5. 検討していない
- 6. その他（内容は5ページ参照）
- 7. 無回答

人数	%
19人	20.9%
31人	34.1%
14人	15.4%
14人	15.4%
34人	37.4%
3人	3.3%
5人	5.5%

「検討していない」が37.4%と最も高く、次いで「近所で支援する」が34.1%となっており、「自治会で支援する」は20.9%にとどまっています。

問13 町として参加と協働のまちづくりを進めており、今年の5月までに町内6地区でコミュニティ協議会が設立しました。これまでに、貴自治会はコミュニティ協議会の行事や事業に参加・協力したことはありますか。

- 1. ある（行事・事業名は6ページ参照）
- 2. ない
- 3. どのような活動をしているかわからない
- 4. 無回答

人数	%
40人	37.0%
57人	52.8%
5人	4.6%
6人	5.6%

「行事に参加したことがない」が52.8%と半数以上の自治会が参加していません。

問14 現在自治会として困っていることで、コミュニティ協議会と協働した方がよい活動があれば記入してください。

自治会として困っていること

7ページ参照

コミュニティ協議会と協働した方がよい活動

7ページ参照

問15 問14のコミュニティ協議会と協働した方がよい活動について、貴自治会でできることを記入してください。

8ページ参照

問16 本町における今後のまちづくりや自治会活動において、ご意見ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

9ページ参照

平成28年度 自治会アンケート調査

問9 問8で1. 検討・実施していると答えた方は、その取組内容を記入してください。

NO.	取組内容
1	自治会総会において、それぞれ問題を話し合い解決している。
2	自治会長の負担軽減と、スムーズな引継を目的とした会長・副会長制とし、次期会長が副会長を務めることとした。
3	高齢化のため活動の参加者が少ないので、若い人に声かけをしている。
4	町からの広報等の配布、自治会で行う清掃作業等への参加の呼びかけ。
5	現在1年で交代してるのを2年にした方がいいのかという案も出ている。
6	課題になるも、対応・解決に至らない。
7	自治会長の任期延長。
8	年に数千円ずつ集めるということ。
9	活動費の値上げを検討している。
10	防災活動を計画するうえで不安がある。
11	役員を順番でしているが役員をする人が半数で2年と長い。
12	集会をして話し合いをする。
13	回覧だけでは地域住民の協力が得にくいので、行事に一人でも多くの人に参加してもらいたいのので、各家庭を訪問して呼びかけをするようにしています。

問12 その他

NO.	その他
1	いざとなれば対応できると思う。一生に一度あるかないかの事で(特にこの地域は)あまり認識度をおいていない。勿論備えあれば憂いなしですが。
2	具体的な話にはなっていませんが、防災の話をした時にとり近所に声をかけあいましょうという事は言っています。
3	検討する様な話し合いはないが、近所で支援したり、自治会で支援するのはあたりまえ。災害の規模に応じて対処する。自治会で手におえない場合は、町などへ支援をお願いする。
4	コミ協との連携。

平成28年度 自治会アンケート調査

問13 参加した行事

NO.	行事名
1	盆おどり、ふれあい祭り、どんど焼、あいさつ運動、清掃行事
2	地区ふれあい祭り、盆踊り、敬老会、どんど焼き
3	清掃作業、ふれあい祭り、盆踊り、敬老会、どんど焼き
4	盆おどり、ふれあいまつり、清掃(道路、山)ごみひろい、協議会内の部会、敬老会
5	ふるさとまつり、会場周辺の除草・清掃
6	堅ヶ浜ふるさと祭り
7	まち・むらコミュニティ協議会総会
8	ラジオ体操
9	総会へ出席しただけです。
10	防災訓練
11	大野地区防災訓練
12	防災チャレンジ、盆踊り、老人会
13	防災訓練
14	防災訓練他
15	清掃活動、盆踊り大会、防災訓練、ラジオ体操、公民館まつり
16	敬老会準備
17	大野防災チャレンジ、大野地区敬老会
18	防災訓練、通学路整備、盆踊り
19	コミュニティ協議会
20	防災訓練
21	敬老会
22	防災訓練、盆踊り、ラジオ体操、敬老会
23	防災訓練
24	防災チャレンジ
25	防災チャレンジ等
26	防災チャレンジ
27	自治会内にコミ協役員さんはいらっしゃいますが、自治会としての参加は「地域ぐるみ一斉清掃」くらい。
28	避難訓練
29	敬老会、公民館まつり
30	各部会会合参加(総会、防災部会、環境部会)及び文化部会
31	敬老会
32	移送サービス、参加者の把握
33	敬老会等
34	敬老会
35	運営会費の負担(年間1件につき100円)
36	地域づくり講演会in佐賀

平成28年度 自治会アンケート調査

問14 現在自治会として困っていることで、コミュニティ協議会と協働した方がよい活動があれば記入してください。

NO	自治会として困っていること
1	世帯数が多く、個々の把握ができない。活動参加の呼びかけも簡単でない。
2	自治会の構成員が高齢化し、役員になれる人数が減少している(自治会役員とコミュニティ役員を兼任して負担が大きい)。
3	高齢化、1人世帯、自治会に無関心など自治会としての存続が難しくなっている。
4	高齢者が多く何事に対しても賛同する方が少ない。
5	高齢の為できない。
6	子供が少人数の為なかなか参加できない。
7	全世帯対象の行事ができない。
8	自治会員の高齢化。
9	役員の負担が大きいので年寄にはきつい。
10	リーダー不在
11	高齢者の方の見守り。
12	高齢者のみの世帯及び単身世帯が多い。
13	参加意識が希薄(個人主義が多い)。
14	高齢化のため行事ができなく、1人の負担が多くなっている。
15	自治会規模が小さくなり、防災訓練などできない。
16	今は自治会の役員が回ってきてなんとか受けられますが、この先は高齢化になって役員を引き受ける人がいなくなります。
17	自治会の高齢化にともない、防災訓練の実施がむずかしい。
18	空家対策
19	高齢会員が多く活動が困難。
20	犬のなきごえ
21	若い人のいない自治会で年寄ばかりで防災訓練など出来ない。
22	高齢者の方が多く防災訓練など参加者が少ない。
23	高齢100%活動むつかしい。参加はできても活動は出来にくい。
24	高齢者世帯が多く、いろんな行事に参加者が少なくなり困っています。

NO	コミュニティ協議会と協働した方がよい活動
1	避難場所の徹底
2	応急処置法
3	防災訓練、清掃活動
4	避難訓練
5	コミュニティの行事が多すぎる。何故に敬老会はコミュニティの引き受けになったのか？理由が不明。
6	防災訓練
7	防災訓練
8	防災訓練(避難訓練)
9	農地の一部の水の管理。道路に水が出ている。路上駐車。
10	イベント活動(祭り)
11	清掃作業
12	光輝バスが通る所で道に落葉がいっぱいで私も前は清掃してたのですが、今はできないのでしていいので協力してもらえると良い。
13	まつりごと、防災訓練

平成28年度 自治会アンケート調査

問15 問14のコミュニティ協議会と協働した方がよい活動について、貴自治会でできることを記入してください。

NO.	ご意見ご要望
1	町が目標をハッキリして指導をしないとコミュニティ協議会はいらないです。
2	元気のよいお年寄りに声かけすれば、数人ですが清掃作業に従事して下さる。当自治会には自治会未加入が3戸ありますのでお願いにあがります。
3	少し意味が違いますが、平等割等を減額して協議会へ廻すのではあまり良い結果は出ないのではなかろうか。要するにどこかの原資を減額して対応するのではいつまで持続出来るものでしょうか。ただ、町の方針ですので自治会で(我々が)どうこう言う事はありません。
4	自治会員への参加呼びかけ。
5	自治会員への参加の呼びかけ。
6	自治会員への参加の呼びかけ。
7	防災訓練の時、回覧を回しただけでは参加者の名前が無かったけど、声をかけて参加をお願いしたら6名増えて、計8名になりました。
8	出来ることはなるべく協力したい。
9	参加の呼びかけ 情報提供(回覧)。
10	自治会員への参加呼びかけ。
11	コミュニティ協議会の設立時に自治会員への設立の主旨等の説明がなく、不審に思っている人が多い。従って自治会員への周知徹底不足を感じる。
12	会員への参加の呼びかけ。
13	行事の周知や参加への声かけ、参加者の把握等。
14	地域のゴミひろい、地域の防災訓練。
15	自治会員への参加の呼びかけ。
16	参加者の把握。自治会員への参加の呼びかけをする。
17	参加者の把握。自治会員への参加の呼びかけをすることくらいは出来る。
18	活動出来ない。参加は出来ても、2~3人。
19	高齢者世帯が多いので行事ごとに、ある一定の世帯にしか呼びかけが出来ないけど、少しでも多くの人に呼びかけて参加出来る様に努力したいと思います。

平成28年度 自治会アンケート調査

問16 本町における今後のまちづくりや自治会活動において、ご意見ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

NO.	ご意見ご要望
1	自治会の構成員が高齢化し、自治会内での役員のなり手が少なくなっている。コミュニティ協議会の活動日数が多く負担になっている(特に現役世代の平日の活動参加や乳幼児の子育て世代は夜の会合への参加が困難)。そのため、自治会加入者が減っている。
2	勤めを卒業した元気な高齢者に自治会活動を担ってもらい、高齢者の経験を故郷のために活かしてもらおう。町民による一斉清掃日を条例化し、きれいな町づくりを実施(特に自宅のまわり)。
3	寄付が多い。約8割が年金世帯で負担感がある。社会福祉協議会の寄付で自治会ごとに数値を公表するのは止めてほしい。
4	防災訓練を町全体で年一回は実施してもらいたい。
5	裏の空地の地主さんが、除草をして下さらないので困っています。他は、別にありません。ありがとうございます。
6	自治会自体があと何年持続出来るのであろうか。(高齢者等で)町内にこういう自治会は多くあると思われます。
7	土手町南蛮樋内に草がはえる。熊川河川内に草がはえる。草を排除して欲しい。
8	自治会の一番の問題は高齢化。買い物や通院が車の運転ができなくなるとすぐに困る事。街灯が少なすぎる。自治会の防犯灯以外に町の街灯もふやしてほしい。
9	班で22軒あるけど高齢者が半数居り若い人でも60才以上で皆消極的で頼りない。
10	当地は限界集落。お年寄りが多く若い人が少ないのが現状です。これは我々にも責任があると思っていますが、やはり若い力の盛り上がりがないと集落は発展しません。
11	二世帯同居になっているが実際はあまり交流のない世帯へ回覧物を届けるにはどうしたらよいかと思っています。自治会費も1件分なのだが実質子ども世帯は別棟で生活していて情報が届いていないように思われます。
12	自治会活動に関して、今のままでよい。行事をふやす予定なし。
13	高齢化により共同作業等への参加者の減少。活動資金も少なく委託もできない。限られた者への負担が増えている。
14	町会議員の活動状況が町民に理解されているのか?どのような活動をしているのか良くわからない。町作りにも積極的な意見を持っているのか?議会への参加だけでは意味がない。又、町民との接触がなく、町民の意見を行政に反映されているのか疑問がある?町会議員は経費のムダ!
15	募金や協力金のために存在しているようで、何のための自治会なのかと思う。
16	公民館行事とコミ協行事の違いが明確ではない。比較的新しい自治会なので、地元行事への参加に積極的ではない。
17	高齢化が深刻。防長バスが1時間に1本あるかないかという感じなので交通手段の確保は重要である。商店も無い地域なので移動販売車などの必要性も感じる(コミュニティバスや移動コンビニなど)。
18	自治会自体高齢化のため役員になる人が少ないため、自治会、協議会、八幡様など役員が必要となり困っています。
19	超高齢化からの限界集落化が進んでしまい、獣害等による生活上の苦労が増加しています。インフラの整備等を考えると中心部に生活を移して管理していくことなども視野に入れて考える必要もあるのかなと思います。考え方を根本から変える必要があります。
20	困り事、意見を出してもその回答又は返事がない。アンケートを取るだけでは何も進歩もない。アンケートの結果が知りたい。
21	コミュニティセンターの建て替えを早急をお願いしたい。
22	地区の祭り行事を活性化できればと思います。
23	コミュニティ協議会だけでは少子高齢化は解決しない。
24	昔ながらの部落意識があり、自治会組織は必要、活動が鈍くなっても。コミュニティ協議会は発足したばかりであり、アクティビティーが良く見えない。防犯と防災は行政主導で行うべき。高齢化で役員選出に苦労。現役(勤め人)でも役員になれる体制をめざしたい。
25	地域の人の要望で街路灯の設置の件、いろいろ検討してみたけど設置場所が私道になっているため未解決のままになっている。空家の一部が破損していて危険なので持ち主に話しかけているけどなかなかむずかしくて困っています。